

清掃業務標準書

【目 次】

1	清掃基準	1
2	日常清掃手順	3
	(1) 一般清掃手順		
	① 風除室、エレベーターホール、廊下、階段など		
	② エレベーター		
	③ エスカレーター		
	④ 事務室、応接室、会議室、その他貸室など		
	⑤ 図書・情報館		
	⑥ 給湯室など		
	⑦ 喫煙室		
	⑧ シャワー室		
	⑨ トイレ		
	⑩ 荷捌駐車場		
	(2) 巡回清掃手順		
	(3) 使用毎清掃手順		
3	定期清掃手順	15
	・ 弾性床・木質床・硬質床		
	・ 繊維床		
4	特別清掃手順	17
	・ ガラス面		
	・ クリエイティブモール・劇場内照明器具、ロールブラインド、 ロールカーテン、制気口等清掃		
	・ 劇場内客席前壁面		
5	建材の特性と適応洗剤	20
6	清掃用具	21

1. 清掃基準

1) 日常清掃作業基準

部位	項目	作業内容	実施頻度
床 面	弾性床・硬質床・木質床の清掃	自在箒、フロアダスターで除塵する 必要に応じ真空掃除機で吸塵する 汚れや水滴が付着している部分はモップで拭く	清掃作業基準表を参照
	繊維床・マット類の清掃	真空掃除機またはカーペットスーパードで吸塵、除塵する	
壁 面	内壁、間仕切り壁、ガラス面、柱、ドア類の清掃	汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する ドアノブは乾拭きする ガラス部分は、水または専用洗剤で拭く	
	備 品 類	什器・備品の清掃	
灰皿の清掃		吸い殻を収集し、灰皿を拭く 水入り灰皿は、水を交換する	
ごみ箱の清掃		容器の内容物を収集処理する リサイクルゴミは分別整理する 容器の汚れがひどい場合は、水または適正洗剤で拭く	
ト イ レ	便器、洗面台の清掃	専用洗剤で洗浄する 金属部分は乾拭きする	
	鏡の清掃	汚れ部分を水または専用洗剤で拭き、全体を乾拭きする	
	汚物処理	汚物入れの内容物を収集し、容器を洗浄する	
	衛生消耗品の補充	トイレットペーパー、ペーパータオル、石けん等を補充する	
給 湯 室	流し台の清掃	専用洗剤を用いて洗浄する 三角コーナーの内容物を収集してゴミ袋を交換する 壁面の汚れを拭き取る	
	厨芥容器の清掃	厨芥を収集し、容器を拭く	
シャワー室	シャワールーム	水廻り、金属部分等の清掃	
	脱衣場所	床の掃き、拭き清掃	
階 段	床の清掃	上記の床面清掃と同じ	
	壁面の清掃	上記の壁面清掃と同じ	
昇 降 機	エレベーターの清掃	床、壁面を除塵する	
		扉溝を除塵する 扉、スイッチ類を拭く	
駐 車 場	駐車場の清掃	建物廻り、駐車場を拾い掃きする グレーチング、溝、目皿等のゴミ、土砂を取り除く	

2) 定期清掃基準

床材	作業内容	実施頻度
弾性床 (塩化ビニール系、 リノリウム系、アス ファルト系、ゴム系 等) 木質床 (無塗装床、樹脂塗 装床、寄木張り等)	1) 自在箒等で床面の除塵を行う	各室毎の 設定によ る ※清掃作 業基準表 を参照
	2) 適正に希釈した洗剤をむらなく塗布する	
	3) フロアーマシン等で床表面を洗浄し汚れを除去する	
	4) 吸水用真空掃除機またはスクイージーで汚水を除去する	
	5) 水拭き後、汚水や洗剤分を完全に除去し、十分に乾燥させる	
	6) ワックスをむらなく塗布し十分に乾燥させる ※木質床系は最小限の水で実施する	
硬質床 (石材・タイル床等)	1) 自在箒等で床面の除塵を行う	各室毎の 設定によ る ※清掃作 業基準表 を参照
	2) 適正に希釈した洗剤をむらなく塗布する	
	3) フロアーマシン等で床表面を洗浄し汚れを除去する	
	4) 吸水用真空掃除機またはスクイージーで汚水を除去する	
繊維床 (カーペット)	1) 真空掃除機で床面の除塵を行う	各室毎の 設定によ る ※清掃作 業基準表 を参照
	2) シミ部分は専用シミ取り剤を噴霧しシミを除去する	
	3) カーペットクリーニング機で全面クリーニングを行う	
	4) 水を噴霧しながら汚水を吸引する	
	5) カーペットの織目を整え、乾燥させる	

その他	作業内容	実施頻度
書架の清掃	1) 棚を一段一段拭き上げる (本の手前部分や、棚板の本を置いていない部分)	1回/月
	2) 棚板のない書架最上段について、図書等に埃が蓄積しないよう、はたき等を用いて適切な清掃方法により清掃を行う	
ペンダント照明の清掃	1) フラワークリーン等にて除塵を行う。	1回/月
	2) 汚れがひどい箇所は、水拭き等を実施する。	
ディスプレイの清掃	1) ディスプレイ上部のほこり取りを行う	1回/月
モップの洗濯作業	1) モップリンガー、洗剤を用いて洗浄を行う。	2回/月
	2) 洗浄後、汚水や洗剤分を完全に除去し、十分に乾燥させる	

※初年度の実施頻度の詳細については、清掃作業基準表を参照すること。

※高所の作業については、脚立等を使用する。

3) ガラス清掃基準

床材	作業内容	実施頻度
外壁ガラス (内面)	1) ガラス面に専用洗剤を塗布する 2) ガラススクイージーで汚水を切る 3) ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き上げる 4) ガラス廻りのサッシュをタオルで拭き上げる	3回/年

2. 日常清掃手順

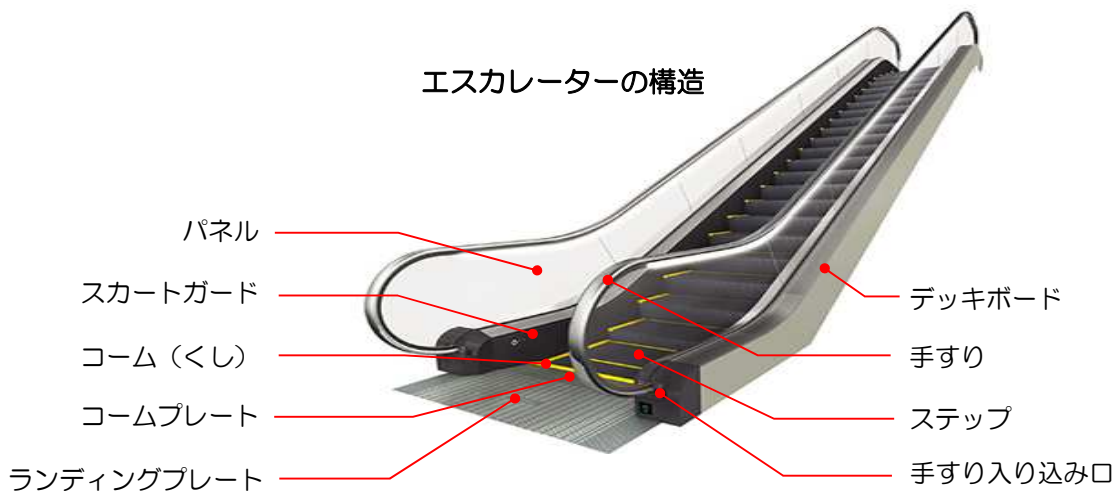
(1) 一般清掃手順

種 別		対 象 場 所	
一般清掃①		風除室・エレベーターホール・廊下・劇場内・ホワイエ・ロビー・ラウンジ・階段・階段前室など	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床面の除塵、拭き		1. 自在箒・フローアダスター	6. ごみ袋
○ 壁面の除塵、拭き		2. 文化ちり取り	7. ハンドパット・パテナイフ
○ 窓ガラス拭き		3. 真空掃除機	8. ハンドスプレー・スポンジ
○ ごみの収集		4. モップ	
○ 什器、金属類の除塵・拭き		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		作 業 内 容	
部位	作業対象	留 意 事 項	
床の清掃	弾性床 硬質床 木質床	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フローアダスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 汚れや水滴などが付着している部分をモップで拭く	
		④ 全面をモップで拭く	
	繊維床 (カーペット)	① 真空掃除機で一定の範囲を重複させながら吸塵する	
		② 表面の粗ごみはカーペットスーパを往復させながら吸塵する	カーペットスーパは真空掃除機による作業の補助作業として行う
③ 染みがある場合は水又は専用洗剤を使用して染み抜きをする		汚れを発見次第、時間を経過させずに実施する	
フロアマット	① 真空掃除機で一定の範囲を重複させながら吸塵する		
床以外の清掃	壁面	① ハタキ又は静電気除塵具等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
		③ ドアノブはから拭きする	
	E L V ボタン等	① 手の触れる部分を水拭き又は適正洗剤で拭き上げる	
		② 乾拭きをする	
	手すり	① タオル又は静電気除塵具等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
	ガラス	① 汚れている部分は、水又は乾拭きをする	必要に応じて適正洗剤を用いて汚れを除去する
	ごみ箱	① 容器の内容物を収集する	ごみ箱に入りきらないごみがある場合についても、適宜収集すること
		② 容器の汚れがひどい場合は水又は適正洗剤を用いてタオル等で拭く	
③ 集めたごみは所定の場所へ搬出する			
什器 備品	① タオル又はダストクロス等で除塵する	デジタルサイネージの除塵も行う	
	② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する		
※劇場内座席については、真空掃除機による除塵及びシミ等の除去を行う ※デジタルサイネージ等の精密機器は破損等が生じないように十分に留意すること			

種 別		対 象 場 所	
一般清掃②		エレベーター	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床面の除塵、拭き		1. 真空掃除機（コードレス）	
○ 繊維床の除塵		2. モップ	
○ 扉溝		3. 乾・湿タオル	
○ 扉、壁面、スイッチ類、手すり、鏡			
作業対象箇所		作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象		
床 の 清 掃	弾性床 硬質床	① 真空掃除機又はフロアダスター等で除塵する	
		② 全面をモップで拭く（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
	繊維床	① 真空掃除機で一定の範囲を重複させながら吸塵する	
	扉溝	① 真空掃除機にて溝内の汚れを除去する	
床 以 外 の 清 掃	扉	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
	壁面	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
	スイッチ類	① 水又は適正洗剤を用いてタオル等で拭く	
	手すり	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
鏡	① 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する		
	② 全体を乾拭きする		
備 考			

種 別		対 象 場 所	
一般清掃③		エスカレーター	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ ランディングプレート		1. 自在箒・フローアスター	
○ 手すり		2. 文化ちり取り	
○ パネル		3. 真空掃除機	
○ スカートガード		4. モップ	
○ デッキボード		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		留 意 事 項	
部位	作業対象	作 業 内 容	留 意 事 項
床 の 清 掃	ランディング プレート	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フローアスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 全面をモップで拭く	
床 以 外 の 清 掃	手すり	① タオルを用いて水拭き又は適正洗剤で拭く	
		② 乾拭きを行う	
	パネル	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
	デッキボ ード・スカ ートガ ード	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
備 考	※ランディングプレート等に固着物がある場合には、パテナイフ等を用いて除去すること		

【エスカレーター各部の名称】



種 別		対 象 場 所	
一般清掃④		事務室・応接室・会議室・その他貸室・ホール管理室・警備控室・清掃控室・ロッカー室など	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床の除塵と拭き		1. 自在箒・フローアダスター	6. カーペットスーパー
○ 繊維床の除塵		2. 文化ちり取り	7. ごみ袋
○ ごみの収集		3. 真空掃除機	
		4. モップ	
		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象		
床 の 清 掃	弾性床 木質床	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フローアダスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く	汚れが甚だしい場合は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する
	繊維床	① 真空掃除機で一定の範囲を重複させながら吸塵する	
		② 表面の粗ごみはカーペットスーパーを往復させながら吸塵する	カーペットスーパーは真空掃除機による作業の補助作業として行う
	床 以 外 の 清 掃	ごみ箱	① ごみを収集する
② 容器の汚れが甚だしい場合は水拭き又は乾拭きする			
③ ごみは所定の場所へ搬出する			
ガラス		① 汚れている部分は、水又は乾拭きをする	必要に応じて適正洗剤を用いて汚れを除去する
什器 備品		① タオル又はダストクロス等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
洗面台		① 適正洗剤を用いてスポンジ等で洗浄する	
		② 水洗い後、乾拭きする	
流し台 と 周 辺		① 適正洗剤を用いてスポンジ等で洗浄し、水洗いする	
		② 三角コーナーの内容物を収集してゴミ袋を交換する	
	③ 壁面の汚れを拭き取る		
備 考	※L-備品庫203内に設置されている流し台についてはワークスタジオ使用毎清掃時に清掃することとするが、委託者から指示があった場合には、清掃不要とする。		

種 別		対 象 場 所	
一般清掃⑤		図書・情報館	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床の除塵と拭き		1. 自在箒・フローアダスター	7. カーペットスーパード
○ 繊維床の除塵		2. 文化ちり取り	8. ごみ袋
○ カウンターの拭きあげ		3. 真空掃除機	
○ 繊維家具の水拭き・シミ取り		4. モップ	
○ 流し台と周辺の清掃		5. 乾・湿タオル	
		6. 洗剤	
作業対象箇所		作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象		
床の清掃	弾性床 硬質床	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フローアダスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く	汚れが甚だしい場合は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する
	繊維床	① 真空掃除機で一定の範囲を重複させながら吸塵する	
② 表面の粗ごみはカーペットスーパードを往復させながら吸塵する		カーペットスーパードは真空掃除機による作業の補助作業として行う	
床以外の清掃	カウンター	① 水拭き又は乾拭きする	カウンターの側面、及び板と板の間についても清掃を行う
	家具等	① 水拭き又は乾拭きする	汚れが甚だしい場合は、適正洗剤を用いて汚れを除去する
	ごみ箱	① ごみを収集する	
		② 容器の汚れが甚だしい場合は水拭き又は乾拭きする	
		③ ごみは所定の場所へ搬出する	
	その他什器 備品	① タオル又はダストクロス等で除塵する	デジタルサイネージの除塵も行う
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
	流し台 と周辺	① 適正洗剤を用いてスポンジ等で洗浄し、水洗いする	
② 三角コーナーの内容物を収集してゴミ袋を交換する			
③ 壁面の汚れを拭き取る			
ガラス	① 汚れている部分は、水又は乾拭きをする	必要に応じて適正洗剤を用いて汚れを除去する	
備 考	※床材や壁材、家具等は多種にわたる材料を使用しているため、これらに適した清掃方法を選択すること。 ※デジタルサイネージ等の精密機器は破損等が生じないように十分に留意すること		

種 別		対 象 場 所	
一般清掃⑥		給湯室、洗濯室、授乳室、パントリー	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床面の除塵、拭き		1. 自在箒・フローアダスター	6. ごみ袋
○ 厨芥入れの清掃		2. 文化ちり取り	7. ハンドスプレー・スポンジ
○ ごみの収集		3. 真空掃除機	
○ 流し台と周辺の清掃		4. モップ	
		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象		
床の清掃	弾性床	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フローアダスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
		④ 全面をモップで拭く（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
床以外の清掃	厨芥入れ	① 専用容器を用い、厨芥を収集する	
		② 容器を洗浄する	
		③ 集めた厨芥は所定の場所へ搬出する	
	ごみ箱	① 専用容器を用い、ゴミの種類毎に分別収集する	
		② 集めたごみは所定の場所へ搬出する	
	流し台と周辺	① 適正洗剤を用いてスポンジ等で洗浄し、水洗いする	
		② 三角コーナーの内容物を収集し、所定の場所へ搬出する。ゴミ袋を交換する	
	ポット	① 内面については、適正洗剤等を用いて洗浄する	
		② 外面については、タオル等で除塵する	
	什器備品	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する			
備考			

種 別		対 象 場 所	
一般清掃⑦		喫煙室	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床面の除塵、拭き		1. 自在箒・フローダスター	
○ 吸い殻の処理		2. 文化ちり取り	
○ ごみの収集		3. 真空掃除機	
		4. モップ	
		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		留 意 事 項	
部位	作業対象	作 業 内 容	留 意 事 項
床の清掃	弾性床	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フローダスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
		④ 全面をモップで拭く（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
床以外の清掃	灰皿	① 専用の容器等を用い、吸い殻を収集し、所定の場所へ搬出する	
		② 灰皿を水拭き又は乾拭きする	
		③ 吸い殻回収用専用容器を洗浄する	
	ガラス・扉	① タオルにて水拭きする（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
	喫煙台	① タオルにて水拭きする（汚れが甚だしい場合は適正洗剤を用いる）	
備考			

種 別		対 象 場 所	
一般清掃⑧		シャワー室	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床の除塵と拭き		1. 自在箒・フローアダスター	6. ごみ袋
○ 浴室・シャワーブース内の清掃		2. 文化ちり取り	7. 乾・湿タオル
○ ごみの収集		3. 真空掃除機	
○ 洗面台・鏡・扉の清掃		4. モップ	
○ 消耗品の補充		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象		
床の清掃	弾性床 硬質床 (浴室・シャ ワーブース)	① 適正洗剤を用いて、ブラシ、スポンジ等により洗浄する	周辺壁面及び金具類、シャワーホース・ヘッドを含む（金具類は洗浄後、乾拭きする）
		② 水洗いをする	排水口のゴミを取り除く
	弾性床 (脱衣室)	① 自在箒又はフローアダスターで除塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所に搬出する	
③ 汚れや水滴などが付着している部分をモップ又はタオルで拭く			
床以外の清掃	ごみ箱	① ごみを収集する	
		② 容器を水拭き又は乾拭きする	
		③ ごみは所定の場所へ搬出する	
	洗面台	① 適正洗剤を用いてスポンジ等で洗浄する	
		② 水洗い後、乾拭きする	
	鏡	① 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
		② 全体を乾拭きする	
扉	① 汚れ部分を適正洗剤又は水で拭く		
什器 備品	① タオル又はダストクロス等で除塵する		
	② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する		
備 考			

種 別		対 象 場 所	
一般清掃⑨		トイレ	
実施作業内容		使用資機材名	
○ 床面の除塵、拭き		1. 自在箒・フロアーダスター	
○ ごみ箱・衛生容器内のごみ収集		2. 文化ちり取り	
○ 衛生陶器の洗浄		3. 真空掃除機	
○ 洗面台・鏡の清掃		4. モップ	
○ 衛生消耗品の補充		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		作業内容	留意事項
部位	作業対象		
壁面 回り	照明 壁面 スイッチ ドア等	① 水拭き又は乾拭きをする	
		② 汚れの甚だしい部分は適正洗剤を用いて汚れを除去する	弱アルカリ性洗剤を使用する
衛生 陶器 の 清 掃	洗面台	① 洗面ボウルをはじめ、洗面台全体をパット、スポンジ等で磨く	資機材を選別しながら素材を傷つけないように注意して磨く
		② 全体を水拭きする	
		③ 乾き拭きして仕上げる	
	鏡	① 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
		② 全体を乾拭きする	
	小便器	① 適正洗剤を撒き、小便器全体をパット、スポンジを用いて磨く	洗剤は酸性を使用する
		② 全体を水拭きする	
		③ 乾き拭きして仕上げる	
	大便器	① 適正洗剤を撒き大便器全体（大便器、便座、ステンレスのパイプ等）をパット、スポンジを用いて磨く	洗剤は酸性を使用する
		② 全体を水拭きする	
		③ 乾き拭きして仕上げる	
		④ 直接利用者が触れる箇所は除菌スプレーを散布し拭き上げる	
床 の 清 掃	弾性床	① 自在箒は押さえ掃き法を用いる。フロアーダスターは軽く押して集塵する	必要に応じ真空掃除機で吸塵する
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
		③ 汚れや水滴などが付着している部分をモップで拭く（汚れの甚だしい場合は適正洗剤を用いて汚れを除去する）	ヒールマークなどの汚れはアルカリ性洗剤を塗布しパッドでこすり落とす
		④ 全面をモップで水拭きし仕上げる	
そ の 他 清 掃	衛生容器	① 専用容器を用い、内容物を収集する	
		② 容器を水拭きする	
		③ 集めた内容物は所定の場所へ搬出する	
	ペーパーホルダー	① 乾拭きをする	
	ごみ箱	① ごみを収集し、容器を水拭き又は乾拭きする	
② ごみは所定の場所へ搬出する			
衛 生 消 耗 品	衛生消耗品	① トイレットペーパー、水石鹼、ペーパータオル、便座除菌用液等を補充する	
備考	※トイレで使用する道具については、全てトイレ専用の道具を用意すること ※トイレ内についても、便器とその他（洗面台、壁面等）の場所は道具を区別して用意し、清掃すること。		

種 別		対 象 場 所	
一般清掃⑩		荷捌駐車場	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床の除塵 ○ 排水溝と排水口		1. 自在箒・フローダスター	
		2. 文化ちり取り	
		3. 真空掃除機	
		4. モップ	
		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		作 業 内 容	留 意 事 項
部 位	作 業 対 象		
床 の 清 掃	硬質床	① 全体を巡回し、専用箒で粗ごみを拾い掃きする	
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
	排水溝と排水口	① 排水溝と排水口の塵芥及び土砂等を取り除く	
		② 集めた塵芥等は所定の場所へ搬出する	
そ の 他	什器 備品	① タオル又はダストクロス等で除塵する	
		② 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
備 考			

2. (2) 巡回清掃手順

種 別		対 象 場 所	
巡回清掃		※清掃基準表に定められた各諸室	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ 床の除塵		1. 自在箒・フローアダスター	
○ ごみの収集		2. 文化ちり取り	
○ 衛生陶器の洗浄		3. 真空掃除機	
○ 洗面台・鏡の清掃		4. モップ	
○ 衛生消耗品の補充		5. 乾・湿タオル	
作業対象箇所		留 意 事 項	
部位	作業対象	作 業 内 容	留 意 事 項
床の清掃	弾性床 木質床 硬質床	① 巡回しながら専用箒で粗ごみを拾い掃きする	汚れや水滴などが付着している部分はモップで拭く
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
	繊維床	① 表面の粗ごみをカーペットスリーパーを往復させながら吸塵する	必要に応じ真空掃除機での吸塵、染み抜きを行う
		② 集めた塵芥は所定の場所へ搬出する	
床以外の清掃	ごみ箱	① ごみを収集する	
		② 容器を水拭き又は乾拭きする	
		③ ごみは所定の場所へ搬出する	
	洗面台	① 適正洗剤を用いてスポンジ等で洗浄する	
		② 水洗い後、乾拭きする	
	鏡	① 汚れている部分は、水又は適正洗剤を用いて汚れを除去する	
		② 全体を乾拭きする	
	小便器	① 洗剤を撒き、小便器全体をパット、スポンジを用いて磨き、全体を水拭きする	洗剤は酸性を使用する
		② 乾き拭きして仕上げる	
	大便器	① 洗剤を撒き大便器全体（大便器、便座、ステンレスのパイプ等）をパット、スポンジを用いて磨き、全体を水拭きする	洗剤は酸性を使用する
② 乾き拭きして仕上げる			
③ 直接触れる箇所は除菌スプレーを散布し拭き上げる			
その他清掃	什器備品等	① タオル又は静電気除塵具等で除塵する	
	衛生容器	① 専用容器を用い、内容物を収集する	
		② 容器を水拭きする	
		③ 集めた内容物は所定の場所へ搬出する	
ペーパーホルダー	① 乾拭きをする		
衛生消耗品	① 必要に応じてトイレットペーパーや水石鹸等を補充する		
備考	※巡回清掃は施設内を定期的に巡回し、床・壁の汚れや消耗品の状況等チェックし、上記項目等について適宜必要な清掃・補充を行う。汚れを発見した場合は、すぐに応急処置等の適切な対応、清掃を行うこと。		

2. (3) 使用毎清掃手順

種 別	対 象 場 所
使用毎清掃	※清掃基準表に定められた各諸室
実 施 作 業 内 容	
○使用毎清掃は指定の諸室の使用後、貸出し時間の間（12：00～13：00、16：00～17：00）に実施するものとし、簡易な床の清掃、ごみの収集、簡易な衛星陶器の清掃、衛生消耗品の補充等程度とする。 ○貸室および関連する諸室の数が多く、また貸出状況は日ごとに変わるため、事前に貸室等の貸出時間を確認したうえで、作業の効率化に努め最小限の人員で対応できるよう工夫すること。	

3. 定期清掃手順

種 別		対 象 場 所			
定期清掃		弾性床・木質床・硬質床			
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名			
○ 表面洗浄 ○ 剥離洗浄		1. 自在箒・フロアダスター	6. 床維持剤・剥離剤		
		2. 文化ちり取り	7. ポリッシャー		
		3. 真空掃除機	8. ごみ袋		
		4. モップ			
		5. 乾・湿タオル			
作業対象箇所	作 業 項 目	作 業 内 容		留 意 事 項	
部位	作業対象				
床の清掃	弾性床 木質床 硬質床	【表面洗浄】			
		① 什器の移動	① 椅子などの軽微な什器の移動を行う	必要に応じて養生する	
		↓			
		② 除塵	② 床面の除塵を行う（自在箒、フロアダスター、真空掃除機）		
		↓			
		③ 洗剤塗布	③ 適正に希釈した表面洗浄剤をモップでムラのないように塗布するか、タンク付床磨きを用いる		
		↓			
		④ 洗剤洗浄	④ 洗浄用パットを装着した床磨き機で皮膜表面の汚れを除去する		
	↓				
	⑤ 汚水除去	⑤ 吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する			
	↓				
	⑥ 水洗い、乾燥	⑥ 水拭きを行って、汚水や洗剤分を除去する	汚水除去後、十分に乾燥させる		
	↓				
	⑦ 床維持剤塗布	⑦ 樹脂床維持剤を塗り残しや塗りムラのないように塗布し、十分に乾燥させる			
	↓				
	⑧ 什器を戻す	⑧ 移動した椅子等の什器は元の位置に戻す			
弾性床 木質床 硬質床	【剥離洗浄】				
	① 什器の移動	① 椅子などの軽微な什器の移動を行う	必要に応じて養生する		
	↓				
	② 除塵	② 床面の除塵を行う（自在箒、フロアダスター、真空掃除機）			
	↓				
	③ 剥離剤塗布	③ 適正に希釈した剥離洗浄剤をモップでムラのないように塗布する			
	↓				
	④ 剥離洗浄	④ 剥離用パットを装着した床磨き機で洗浄する	剥離状況を点検し、不十分な箇所は再度剥離洗浄を行う		
↓					
⑤ 汚水除去	⑤ 洗浄液が乾かないうちに、吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する				
↓					
⑥ 中和	⑥ 汚水除去後、直ちに中和剤で中和した後、水拭きを行い、十分乾燥させる				
↓					
⑦ 床維持剤塗布	⑦ 樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りムラのないように塗布し、十分に乾燥させる	塗布は格子塗りとする			
↓					
⑧ 什器を戻す	⑧ 移動した椅子等の什器を元の位置に戻す				
備 考	<p>※硬質床については、石材が痛まないよう事前に床を水で濡らしポリッシャーを使用すること。また、床維持材は石材床には原則塗布しないこと。</p> <p>※剥離洗浄は床材、床の状態に合せ、委託者と必要性について協議し、委託者が指示する場合に実施すること</p> <p>※清掃機材等が、壁、扉、什器備品等に接触することがないように清掃を行うこと</p> <p>※万が一壁等に洗剤等が付着した場合は、速やかにタオル等で拭きとること</p> <p>※「6. 建材の特性と適応洗剤」を参照し、各床材に適した清掃を行い、床材を傷つけないようにすること</p>				

種 別		対 象 場 所	
定期清掃		繊維床	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ カーペット洗淨		1. ポリッシャー	6. スプレー（水・溶剤）
		2. エクストラクター	7. 起毛ブラシ
		3. 染み取り用具	
		4. パキュームクリーナー	
		5. 前処理剤	
作業対象箇所	作 業 項 目	作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象		
床の清掃	繊維床	【カーペット洗淨】	
		① 什器の移動 ↓	① 椅子などの什器の移動を行い、必要に応じて養生する
		② 除塵 ↓	② 掃除機でパキューム清掃を行う
		③ しみ取り ↓	③ 染みがある場合は、作業前に取り除き、汚れが多い場合は前処理剤をスプレーしておく
		④ 洗淨 ↓	④ ポリッシャーにて洗淨する
		⑤ 吸泡・すすぎ ↓	⑤ エクストラクターにて、吸泡・すすぎを行なう
		⑥ 起毛 ↓	⑥ ブラシを使ってパイルを起毛する。
		⑦ 乾燥 ↓	⑦ 十分乾燥させる
		⑧ 除塵 ↓	⑧ 掃除機でパキューム清掃を行う
	⑨ 什器を戻す	⑨ 移動した椅子等什器を元の位置に戻す	
備 考	※作業場所によって、ウエット式、ドライ式を使い分けクリーニングを行う ※清掃機材等が、壁、扉、什器備品等に接触することがないように清掃を行うこと		

4. 特別清掃手順

種 別		対 象 場 所	
特別清掃		外壁ガラス（内面）、劇場内ガラス（客席側）清掃	
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名	
○ ガラス清掃		1. ウィンドスクイジー	
		2. バケツ	
		3. タオル	
		4. 養生シート	
作業対象箇所	作業項目	作業内容	留意事項
部位	作業対象		
ガラスの清掃	窓ガラス	【ガラス洗浄】	
		①ガラス面の拭き	① ガラス面に専用洗剤を塗布する
		↓	② ガラススクイジーで汚水を切る
		②汚れのかき取り	③ ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き上げる
	↓	④ ガラス廻りのサッシュをタオルで拭き上げる	
	③拭き取り		
備考	<p>※1 Fクリエイティブモールのガラス面（内側）は飛散防止フィルムが施されているためウィンドスクイジー等でキズをつけないように清掃する</p> <p>※微粉塵についてもキズの原因となるので水又は適正洗剤を十分に塗布して、スクイジー作業を行う</p> <p>※ガラス面の拭き上げ時には、液だれに注意すること</p> <p>※スライダーを使用する場合は、付近の状況等に注意して使用すること</p> <p>※ローリングタワー、高所作業車等を使用する場合には、作業安全基準、法令等を遵守し、細心の注意を払い作業を行うこと</p>		

種 別		対 象 場 所		
特別清掃		クリエイティブモール・劇場内照明器具、図書・情報館ロールブラインド、クリエイティブモール及び図書・情報館電動ロールカーテン、各諸室制気口		
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名		
○ 照明器具 ○ ロールブラインド ○ 電動ロールカーテン ○ 制気口		1. フラワークリーン		
		2. 養生シート		
		3. 乾・湿タオル		
作業対象箇所		作 業 内 容		
部位	作業対象	作 業 項 目	作 業 内 容	留 意 事 項
照明器具・ロールカーテン・制気口	天井面	【除塵作業】		
		①除塵	① フラワークリーンにて除塵	埃等を落とさないよう留意する
		②水拭き	② 汚れが基だしい場合は、水拭き等実施	
備考	※高所作業車、脚立等を使用する場合には、作業安全基準、法令等を遵守し、細心の注意を払い作業を行うこと			

種 別		対 象 場 所		
特別清掃		劇場内客席前壁面		
実 施 作 業 内 容		使 用 資 機 材 名		
○ 壁面除塵		1. フラワークリーン 2. 養生シート		
作業対象箇所		作 業 項 目	作 業 内 容	留 意 事 項
部位	作業対象	【除塵作業】 ① 壁面の除塵	① フラワークリーンにて除塵 ② 汚れがひどい所は、水拭き等実施	客席に埃等を落とさないよう留意する。バルコニーライトについても除塵を行う。
客席前壁面	壁面			
備 考	※客席上部から実施し、必要に応じて高所作業車や脚立等を使用する ※高所作業車、脚立等を使用する場合には、作業安全基準、法令等を遵守し、細心の注意を払い作業を行うこと			

5. 建材の特性と適応洗剤

分類	対象素材	適応洗剤		耐酸性	耐アルカリ性	特記事項
		油汚れ 有機物の汚れ	土砂・泥 無機物の汚れ			
弾性床材	塩化ビニール系	中性またはアルカリ性洗剤	中性またはアルカリ性洗剤	○	○	ワックスの剥離はアルカリ性の剥離剤を使用する
	リノリウム系 アスファルト系 ゴム系	中性洗剤	中性洗剤	×	×	ワックスの剥離は、中性剥離剤または専用離剤を使う
硬質床材	御影石	中性洗剤	中性洗剤	○	○	石材床は基本的にはワックスを塗らない 御影石は酸性、弱アルカリに強いが、目地材も考えて中性洗剤を使用
	大理石 テラゾ レジンテラゾー	中性洗剤	中性洗剤 (タワシ、クレンザー不可)	×	×	
	陶器 磁器質タイル	中性またはアルカリ性洗剤	中性またはアルカリ性洗剤	○	○	耐酸、耐アルカリ性だが目地材に注意
	コンクリート モルタル	中性または弱アルカリ性洗剤	中性または弱アルカリ性洗剤	×	○	酸性洗剤は使用できない
木質床材	無塗装床、白木、コルク	中性洗剤	中性洗剤	×	×	木床を洗うときは、最少限の水で洗う アク洗い液には、酸とアルカリの2種類を使用する
	樹脂塗装床	中性または弱アルカリ性洗剤	中性洗剤	○	○	
	寄木張り (油性塗料塗布)	中性または弱アルカリ性洗剤	中性洗剤	×	×	
繊維床	化学繊維 (タイルカーペット含む)	中性または弱アルカリ性洗剤	中性洗剤	×	×	化学繊維は弱アルカリ性洗剤を使用できるが、天然素材には使用できない 水を多量に使用すると収縮の恐れがある タイルカーペットはバックング材に注意
	天然繊維	中性洗剤	中性洗剤	×	×	
	染み取り	染み取り専用洗剤	染み取り専用洗剤	×	×	
金属材料	アルミニウム、ステンレス、スチール	中性または弱アルカリ性洗剤	中性洗剤	○	○	錆取りの場合は、中性専用洗剤を使用した後、防錆材を塗る
	真鍮・金・銀	中性または弱アルカリ性洗剤	中性洗剤	×	×	
ガラス他	ガラス	中性または弱アルカリ性洗剤	水または中性洗剤	○	○	汚れがとれにくい場合は、アンモニアかアルコールで拭く
	アクリル ポリカーボネイト	中性または弱アルカリ性洗剤	中性またはアルカリ洗剤	○	○	強アルカリ性洗剤は使用できない
その他	人造大理石、ホーロー、FRP、ステンレス、磁器タイル	中性または酸性洗剤	中性または酸性洗剤	○	○	浴室の石鹸カス、トイレの尿石を取るには、酸性洗剤が必要

6. 清掃用具

清掃用具	摘 要	清掃用具	摘 要
 <p>自在ぼうき</p>	<p>隅々をよく掃くことができ、ホコリをはね上げることが少ないので、建築物の床掃き用として広く使われている</p>	 <p>シダぼうき</p>	<p>南方産の繊維を穂にした物で、丈夫なので”万年ぼうき”の名があり、粗いゴミ用</p>
 <p>片手ぼうき</p>	<p>片手で使う柄が短いほうきを言い、素材は、長柄ぼうきと同様に、ほうききび、シダ、ナイロンなどがある</p>	 <p>小ぼうき</p>	<p>家具などのホコリを払う、小形のほうき</p>
 <p>片手ちり取り</p>	<p>フライパン形の小形のちり取りで、汚れた水のすくい取りにも使われる</p>	 <p>文化ちり取り</p>	<p>フタと本体が連動するようになり、柄を持ち上げるとフタが閉まるので、見まわり掃きに適している</p>
 <p>三つ手ちり取り</p>	<p>取っ手が三本になっており、多量のゴミを取るに適している</p>	 <p>T字モップ</p>	<p>房糸を横木に取り付けてあり、T字形をしている、丈夫で建築物で最も広く使われているモップ</p>
 <p>スプリングモップ</p>	<p>用途はT字モップと同様だが、柄の取り付け部分にスプリングがついている</p>	 <p>プレスモップ</p>	<p>房糸が長く、床の拭き取り作業や床維持剤の塗布に適し、堅牢で房糸の取り替えが簡単なのが特徴</p>
 <p>デッキブラシ</p>	<p>長柄つきのブラシで、床の擦り洗いなどに使用する</p>	 <p>ダストモップ (湿式)</p>	<p>フラットモップとも呼ばれ、水拭き・樹脂液塗布用があり房糸が2～5cmと短く、平面(フラット型)につくられている</p>

 <p>ダストクロスモップ (洗い替え)</p>	<p>乾式モップとも呼ばれ、床を押ししていくと、床とクロスとの摩擦で静電気が発生し、この磁力で大小のホコリ、ゴミを吸着し、集塵する</p>	 <p>ダストクロスモップ (使い捨てタイプ)</p>	<p>不織布などで作った使い捨てタイプ 床を押ししていくと、床とクロスとの摩擦で静電気が発生し、この磁力で大小のホコリ、ゴミを吸着し、集塵する</p>
 <p>フロアスクイジー</p>	<p>床を洗浄したときの汚れ水をかき集める作業などに使用する</p>	 <p>ウインドスクイジー</p>	<p>床用よりも繊細にできており、窓ガラスクリーニング専用の器具</p>
 <p>スイーパー類</p>	<p>床面を押しに行けば、回転ブラシがゴミを掃き取り、器具の内部に巻き込む仕組みになっている</p>	 <p>カーペットスイーパー</p>	<p>手動スイーパーのさらに簡単なもので、手で前後に動かして使用する</p>
 <p>コレクター</p>	<p>建築物内で紙くずなどのゴミを収集するために使用する 移動作業用の清掃道具の運搬にも使用できる</p>	 <p>モップリンガー</p>	<p>モップを絞る道具で、ローラー型・キャブレス型などがある</p>
 <p>ハンドスプレー</p>	<p>片手で持つ小形の噴霧器で、洗剤などを吹きかけるために使用する</p>	 <p>パテナイフ</p>	<p>ガム等の床の固着物を取るために使用する</p>
 <p>ほこり取り</p>	<p>合成の繊維で作られた房糸を束ねた物に、ホコリを付着させ取り除く</p>	 <p>棒たわし</p>	<p>柄つきのたわしで、便器の掃除などに使用する</p>
 <p>片手ブラシ</p>	<p>カウンターブラシともいい、机の上のゴミの掃きとりなどに使う</p>	 <p>ラバーカップ</p>	<p>簡易な便器の詰まり通し器具</p>

 <p>計量カップ</p>	<p>洗剤や繊維床材を正確な量で使うために用いる</p>	 <p>吸塵式真空掃除機</p>	<p>吸塵式真空掃除機には、構造の違うたて型真空掃除機（アップライト型）がある</p>
 <p>吸水式真空掃除機</p>	<p>構造の原理は吸塵式と同じですが、水を吸い取るのに用いるので、モーターの部分に湿気がまわらないような構造になっている</p>	 <p>自動床洗浄機</p>	<p>自動床洗浄機は洗浄液を床にまく、ブラシで床面を洗浄する、汚れた水を集めて除去するという3工程を1台の機械で行う</p>
 <p>エクストラクター</p>	<p>速やかに水または温水を噴射し、汚水を回収する機械 ※多量の噴射は、カーペットの縮みの原因となるので注意する</p>	 <p>スチーム洗浄機</p>	<p>スチーム発生機（小型ボイラー）で高温スチームを発生させて各種ノズルを使って高圧で噴射し、洗浄する機械</p>
 <p>床磨き機（フロアポリッシャー）</p>	<p>モーターで円形のブラシやパッドを回転させて効率良く床の洗浄や古いワックスの剥離作業、床の磨き作業を行なう清掃機械</p>	 <p>ブラシ・パット</p>	<p>床磨き機に取付け回転させて、効率良く床の洗浄や古いワックスの剥離作業、床の磨き作業を行なう器具 パッドは白～黒まで各色あり、使用場所や使用目的によって、最適なブラシやパッドを取り付けて使用する</p>